

# 令和4年度 高総体空手道競技における感染防止対策

岩手県高体連空手道専門部

本対策は、選手、関係者の感染防止に最大限努めるとともに、他校との交流を通し、相互理解を深め、選手各々の意識高揚を図り、安心した大会を開催できるよう、下記のように感染予防対策を講じるものである。

## 1 大会会場への入場者の制限について

今大会は、岩手県高等学校体育連盟からの「**第74回岩手県高等学校総合体育大会のコロナ対応について**」に則り、アリーナ（競技会場）・観客席・役員控室などの大会関係会場への入場は、「選手」「監督」「学校公認コーチ」（プログラム掲載者）「審判員」「大会役員」「競技役員」のみとする。

観客席に限り、選手（プログラム掲載者）および3学年生徒の保護者2名の入場を認める。（入退場口は2階のみ）選手の保護者には、別添「**高総体空手道競技における参加許可・観覧希望の確認について**」を事前に各高校顧問に提出頂き、留意事項を遵守し専門部の指示に従って頂くことを条件に観覧して頂く。

万が一、保護者以外の関係者が入場したときには、各校顧問の責任で会場から退去してもらう。

## 2 参加者の健康チェックについて

各高校においては、「**大会参加者健康状態申告書**」（別紙1）を選手・コーチ・顧問の分をまとめて記入し大会期間中、毎日大会事務局へ提出すること。体温が平熱を越える場合（おおむね、37.5℃以上）や、大会2週間前から健康状態に異常がある者は、大会会場に入場させないこと。

役員・審判員に対しても「**大会参加に関する確認書**」（別紙2）を大会初日に提出してもらい、毎朝事務局で体温・体調チェックを行い、選手同様、体温が平熱を越える場合（おおむね、37.5℃を以上）や、大会2週間前から健康状態に異常がある者は大会会場に入場させない。

## 3 競技について

- ・審判員は、全国高体連空手道専門部より指示のあった、フェイスシールドまたはマスクを着用して審判業務にあたる。
- ・形競技は、通常通り「形名の発声」「気合い」を出すこととする。
- ・組手競技は、全国高体連空手道専門部より指示のあった、フェイスガードをメンホーに貼付して飛沫の拡散を防ぐ。  
※フェイスガードがない場合には、各高校で購入すること。ミズノで販売しています。
- ・競技全般について、安全具・ペットボトル・タオルなどの貸し借りを極力行わないこと。
- ・監督・コーチについては、常にフェイスシールドまたはマスクを着用し感染予防に努めることとする。選手への指示も大声にならないように注意すること。
- ・大会役員、競技役員、補助員は常にマスクまたはフェイスシールドを着用すること。

## 4 全般について

- ・アリーナ入口、観客席入口にアルコール消毒を常備するので、それぞれ入場する場合には、必ず消毒を行うこと。
- ・選手は、アリーナ（競技場・練習場）ではマスクを外して練習や競技を行ってよいが、それ以外の場所では必ずマスクを着用し感染予防に努めること。また、出来るだけ密集をさけること。
- ・観客席での観戦スペースは特に制限しないが、出来るだけ三密をさけるなどソーシャルディスタンスの確保すること。
- ・飲食をする場合には、容器の共有を避け、ゴミの持ち帰りは各自（各校）で行うこと。